

「新しい価値観のもとで」

東京都稲付中学校 阿久津光生



1 本単元について

本単元のねらいは、新政府が廃藩置県と身分制度の廃止を重点においてとりあげ、富国強兵によって近代国家を作り上げようとしたことを理解させること。またそれとともに、新しい価値観のもとに近代国家を形成していった政府や人々の努力を具体的に調べ、明治維新後の変化をとらえることができるようにすることである。調査する資料は、おもに帝国書院『中学生の歴史(最新版)』(以下、教科書)を中心にさまざまな資料から調べさせた。

2 授業の展開例

(1) 五箇条の御誓文を読んで、新政府の方針を確認して、なぜそのようなことをめざしたかを考え発表させる。その際に、江戸時代と比較したり、欧米諸国の影響も考慮しながら理解しているか評価する。

五箇条の御誓文を現代の言葉にすると、
どうなるかな？

- 1) 政治のことは会議を開き、みんなの意見を聞いて、民主的に決めよう。
- 2) 国民は身分の別なく、みんな心を合わせ、国の考えを実行しよう。
- 3) 国民みんながそれぞれの才能をふるって、志がかなえられるようにしよう。
- 4) 今までのよくない習わしをあらためよう。
- 5) 新しい知識を外国から学び、国を栄えさせよう。

現代の言葉でしっかりと把握させた上で、なぜそのようなことをめざしたかを考え発表させる。

(2) 教科書のp.150の図①とp.107とp.44を比較して類似点・相違点をワークシートに書き出し、発表させる。

意見

若い 元下級武士、公家 今でも聞いたことのある省庁名 武士の政治は終わった天

皇中心にしたい 中央集権国家づくり

(3) 廃藩置県が行われるまでの過程を調べ、廃藩置県について、次の三つの立場から意見を発表し合う。(新政府・諸藩・人々)

ポイントとして

☆廃藩置県によって藩主をはじめ、家老などの重役はその身分を失い、新しく中央からきた県令に従わなければならなかったこと。その県令も元中下級の武士であり、「あんな奴らの命令を聞かなければならないのか」と悔しがる者も当然であったことなど気づかせる。

☆廃藩置県は、封建制度を消滅させ、中央集権による近代的な国家体制をつくりあげるうえでたいせつな政策だった。しかしこのことが、薩摩や長州などの武力を背景にして行われたことは、天皇の名の下でかぎられた藩出身者によって政治が行われる藩閥政治を強化することになった。

次に、現代の都道府県の地図を広げさせ、身近な地域で調べさせた。

作業①

あなたの地域が、藩が廃止されてから今の県に落ち着くまで、どんな過程を経たのか、調べてみよう。また、県名のつけ方も調べみよう。

作業②

県名と県庁所在地が同じ県とそうじゃない県に分けて分類しよう。

青森県と青森市の例などあげてから、官軍側と旧幕府側との関係をワークシートの地図に色塗りし、県名と県庁所在地との関係を推測していく。

(4) 学制

教科書p.152の小学校の授業のようすとp.132の寺子屋とのちがいをノートにまとめ、発表させる。また、現在の学校のようすと比べて違いをみつけさせる。



帝国書院『中学生の歴史（最新版）』p.152



▲① 寺子屋のようす 〈「一掃百態」渡辺華山筆 愛知県田原町蔵〉
帝国書院『中学生の歴史（最新版）』p.132

意見

- ・椅子に座って受けている。
- ・掛図で一斉に授業。寺子屋は同じところで受けているが個人授業。
- ・先生は洋服姿、生徒は寺子屋と変わらない姿

行われていた授業内容

綴字（かなづかい）習字・単語・会話・読本・修身・手紙・文法・算術・養生法・地学大意・窮理学大意・体術・唱歌（14教科）

(5) 殖産興業

教科書p.153の富岡製糸工場の図を見て、官営工場の特徴を読み取り発表させる。

この錦絵で女工たちがどんな作業をしているか



▲④ はじめての官営工場・富岡製糸場
帝国書院『中学生の歴史（最新版）』p.153

ノートに二つ以上書かせる。

意見

- ・ほぐして一本一本の糸にする。
- ・繭をお湯につけて、一本ずつ切れないようにつなぐ。
- ・糸を機械にかける。
- ・糸が切れたらつなぐ。

ここで、以下の資料をを活用した。

和田英『富岡日記』（中公文庫）より――

富岡製糸場に1873年3月に横田英がきました。翌年7月、彼女は郷里の長野県松代の六工社製糸場で技術を伝えることになり、富岡製糸場を去ることになりました。そのときのようなすがこの日記に残っている。

15歳の女工横田英の日記より

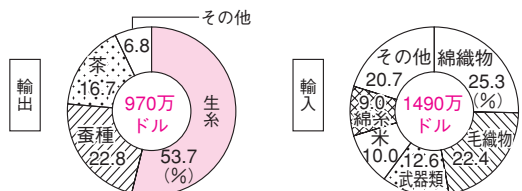
私どもが退場致しました時、どのくらい尾高様がお喜びになりましたことやら、額に致して製糸場内にかけてしようと仰せられました、御書物を一枚宇敷氏へ賜りました。これは横長の上に

「繰婦勝兵隊」

と申す御文でお名前に御印章が据えてありました。

注) 尾高様は富岡製糸場の所長、宇敷氏は、六工社の創立者。繰婦は工女のこと。

次に日本の当時の貿易額を示し、意見を求めた。



1867年の日本の貿易額

これ以上貿易赤字が続くと日本はどうか。明治政府はこの貿易赤字をなくすためにどんなことをしたか。

意見

- ・今まで輸出していなかった国にも、日本の生糸を売り込む。
- ・生糸などをもっと沢山つくって売り込む。
- ・生糸の工場をもっと増やして沢山輸出する。
- ・朝鮮を開国させ、不平等条約を押しつけてむりやり買わせる。

「^{そうふ}繅婦^{へいたい}勝兵隊」は「^{まさ}繅婦は兵隊に勝る。」

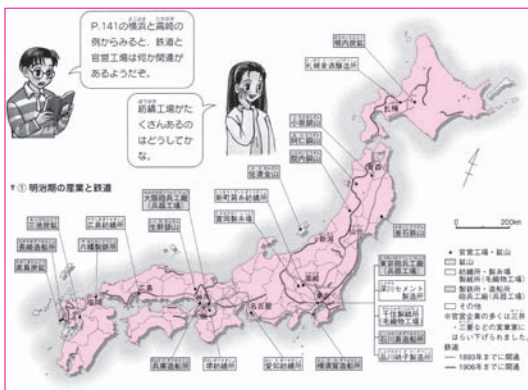
どういう意味か質問する。

意見

- ・兵隊は体力があればできる仕事だが、工女は体力も必要だけど技術も必要だ。
- ・兵隊より工女の方が貴重になってきている
- ・生糸でもうけた金が軍資金になる。
- ・国を強くするためには工場を増やす。

生徒たちの力で「なぜ近代産業が必要であったか」「繅婦は兵隊に勝る。」を明らかにしていった。さらに今まで輸出していなかった国、朝鮮、中国への進出は、現に近代日本はその道を歩むこととなる。

製糸工場については教科書p.174の養蚕農家のくらしや、p.176の製糸工場の女子工員の生活など、今後の授業に大きく関連するため、ていねいに取り上げたい。



帝国書院『中学生の歴史 (最新版)』p.172

教科書p.172の図を見て、官営工場や鉱山の分布、鉄道の開通状況を調べ、気づいたことを発表しよう。また、自分の身近な地域にある鉱山や官営工場を調べさせる。



▲① 明治時代の銀座 (香川県 マスプロ美術 監修) 文明開化の家徴として銀座がえがかれています。一歩裏がわにまわると、むかしながらの蔵が建っています。 Ginza こんどころをみてみましょう。 レンガづくり、ガス灯、こうもり傘、人力車、レンガ舗装、馬車、女学生、警官、富士山

帝国書院『中学生の歴史 (最新版)』p.154

教科書p.154の明治時代の銀座のようすを見て、レンガづくり、ガス灯、こうもり傘、人力車、レンガ舗装、馬車、女学生、警官、富士山 などみつけさせ、また、裏には昔ながらの蔵が建っていることにも注目させる。

写真から聞こえてくる音や人々の声はどんなものか推測させる。

また、銀座の町にいる人々は、文明開化のの変化に接した当時の人々の気持ちを想像させ、話し合う。さらに、乗り物・食べ物・住まいと家具など一つ課題を設定し調べる。

乗り物の例

人力車：カラカラ大きな音、ゆれが大きい。

馬車：高級、政府高官

乗合馬車：一般人 メンカラ、メンカラ

鉄道：新橋～横浜 (運賃上等で18000円ぐらい)

食べ物の例

牛鍋 ビール 西洋料理フルコース パン あんパン 牛乳 チョコレート アイスクリーム キャラメル

3 まとめ

この單元においては、新しい価値観のもとで近代国家を形成していった政府や人々の努力を知るために、教科書の資料をうまく利用し、工夫した発問をすることがたいせつである。また、それが生徒の興味・関心を導く第一歩でもある。それにくわえ、どんな音、どんな味、どんな臭い、どんな話し合いなど、五感で感じる授業をすることで生徒たちが生き生きとしてくる。そのために、ロールプレイや調査・体験学習を取り入れることは、当時の人々の立場や気持ちを理解させていくうえでとても効果的であると考え、実践している。